

野良のかぜ 街のかぜ

2013年
平成25年
12月議会



横山秀男の市政報告

●発行者：日高市議会議員 横山秀男 ●連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台1-11-1 ●電話・FAX：042-982-0369
メール：h-yoko@sa2.so-net.ne.jp ブログ：http://d.hatenz.ne.jp/hideoyok/

**「中期財政計画を策定、
予算編成の根拠を示す」
◆市の義務として収入見
通し、使途の説明が必要。**

平 成25年度12月議会質
問で、私が従来から
検討を促してきた2つの
テーマに関して、大きな
進展と重要な情報開示が
ありました。

- 1 計画的予算編成と議会
市民への分かり易い情
報提供が約束された。
- 2 4年計画で進行中の行
政改革4課題、うち最
重要課題である公共施
設の老朽化対策に必要

◎12月議会、
一般質問
2大重点テーマに大きな成果◎

な金額が公表された。

現 在、平成26年度予算
編成が進行中です。

市の歳入と歳出について
議会、住民への情報の提
供と説明でどんな点に留
意しているか、を質した
上で、平成23年12月の私
の質問に対する「24年度
中に中期財政計画を策定
する」との答弁の実行を
確認しました。策定され
ていなかったのですが、
私は、この問題を継続し
て取り上げてきました。

従 来の予算編成が年度
重点施策の説明がほ
とんどで、過去を踏まえ
た将来の収入見通しや社
会変化に伴う市民サービ
スと支出の方向について
見解を示してきませんで
した。これでは積極予算
といっても、収支見積り
と使途が適切で、市民要
望に沿っているかわかり
ません。財政課独立の目
的も、まず第一に市の財
政情報の分かり易い提供
にある事を確認しました。

**「公共施設の改修と維持
に今後600億円必要」
◆妥当な額か、市民サービ
スはどうか変化するか。注目！**

財 源不足が前提となる
今後、子育て、弱者対策
等に配慮した市民サービ
スを提供していかなければ
なりません。財政調整
基金(市の貯金)取り崩
しに頼ることについても
全体の財源や使途の詳し
い説明が義務として必要
です。①地方交付税の根
拠としての地方財政計画、
②決算に関する認識と見

解、③中期財政見通しの
3点からの説明と情報提
供が約束されました。

公 共施設の建て替えと
維持による老朽化対
策が、国、自治体の最大
課題となってきました。
私は、平成24年9月議会
質問で「市民ニーズに応
える基準での老朽化診断
は自己判断ではなく第三
者機関に委託すべき」と
提起しました。これに応
じて市は予算1200
(市負担480万円)万円
で地方自治研究機構との
共同研究・調査事業を実
施、進行中です。今後40
年間で600億、従来の
3倍の年間維持費15億円
が必要という中間報告が
今回初めて示されました。

この金額が妥当か、市
民サービスの基本施
設である学校、公民館等
はどうあるべきか、今後
の市政の大テーマとなり
ます。全市民的な検討と
議論が必要なので注目し
ていきます。

市道幹線56号の 舗装改修終了

平成25年11月中旬から1カ月かけて行われた市道幹線56号の舗装改修工事が終了しました。56号は、横手台の交

又点近くの飯能市境より武蔵台公民館下の信号を経て滝不動に至る道路で、今回の舗装修繕は右折点まで。大型車も含め交通増加による路面の傷みの大規模改修でした。安定走行と振動軽減が実現し、地域の環境整備が整いました。



より目立つようになりまし

予算約5000万円。国の補助金である社会資本整備総合交付金の一種である防災・安全交付

金による工事でした。社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公

共団体向けの一括交付金で、文字通り地域の生活を支えるあらゆる社会基盤の新設や改善に使える資金です。以前は、道路、下水道、治水、住宅等7分野に分かれていた補助金が一本化され自由に使えるようになりまし。各自治体は、いまこの資金を住民の望む公共事業にどう使うか知恵を絞っています。市の今後の方針をチェックし有効な使途を検討していきます。

自治会に提案を行った大型車通行禁止の看板が市を通じて飯能署に届き、久保、滝不動の各交叉点に設置されました。夜10時から朝6時の時間帯が課題ですが、法定表示

下水道正式認可 次は本管接続へ



平成24年4月に日高市に移設は、平成25年3月29日に都市計画法の下水道事業認可が

得られました。他地域で発生した不明水が溢れる事故の再来を防ぐ名目で、国と県は事業認可に厳しい対応を迫ってきたのですが、現在までの管渠調査と修繕及び長寿命化計画を見越しての事業認可となり、既定とはいえ一つの区切りとなりました。

事業の進捗については、随時、下水道課より地域に報告され、最近では詳細な地図の添

付で非常に分かり易く

紙の混入が大幅減少！
成果表れてきた可燃ごみ減量
どんな小さい紙でも資源回収へ
協力しさらに成果を高めましょう

市公表

なりまし。私は、平成24年12月の議会質問で「当面の工事の意義や見取り図的な説明及び公共への関心に配慮するため

に予算や今後の工事の十分な説明が必要」と質しました。担当部局だけでなく業者にもこの趣旨が定着してきまし。

現在、管渠の修繕が続いています。平成26年度からは市浄化センターの増設と放

流管の修繕に着手。平成29年度の完成予定で、30年度までに公共下水道に接続となりまし。推移を見守っていきます。事業報告は25年6月のお知らせ等で地域に周知されまし。が、決算審査で確認しまし。

移管の際に拠出した大修理

は、23年度に5000万円が管渠修繕に先行充当され、24年度は約8300万円を使い、24年度残金は約2億1600

万円、引き続き25年度以降の修繕に使用されていきます。平成24年度下水道事業の純利益は約4117億円、うちコミプラ移管による利益は約2840万円です。

市全体として、下水道事業は次のような課題を抱えていることが、同様に平成24年12月の議会質問等で明らかになりました。今後、対策が迫られます。①単独処理と市街

化条件による高コスト体質、②施設の老朽化対策、③市街化抑制地域の下水道整備、④埼玉県流域処理計画に合致する放流水の高度処理等です。

議会改革

かねて主張してきた議会のネット中継がようやく取り上げられました。範囲を出来るだけ広くとし、併せて議会広報のあり方も議論を行いたい。議員政治倫理規定について、最終議論で公開と説明責任の担保として全文記録を主張したが議論打切りとなり、11月全員協議会で4会派提案の原案通り成立しまし。